

『臨床画像』

第2回 優秀論文賞・優秀編集賞 表彰式開催報告

5月24日(月), 本誌 第2回 優秀論文賞・優秀編集賞の表彰式をオンライン形式にて行いました。表彰式では, このたび優秀論文賞を受賞されました永山泰教先生, 優秀編集賞を受賞されました中村優子先生へ, 『臨床画像』アワード選考委員会より記念盾を贈呈させていただきました。

『臨床画像』優秀論文賞

「イメージング・バイオマーカーとしての心臓周囲脂肪」

永山泰教 先生 (熊本大学大学院生命科学研究部 放射線診断学講座)

[2020年3月号(Vol.36, No.3)特集「画像診断における脂肪の意味：存在からその意義まで」に掲載]

大変光栄にも第2回『臨床画像』優秀論文賞にご選出いただき, 誠に有難うございました。心臓周囲脂肪組織はさまざまな心疾患のリスクを可視化するバイオマーカーとして注目されており, 本稿ではその病態生理学的役割と画像を用いた評価方法について概説させていただきました。このたびの受賞を励みに, 関連した研究を推進できるよう精進したいと思います。ご選考いただいた編集委員の先生方, 執筆の機会を与えてくださった広島大学の中村優子先生, 作図や校正など大変お世話になりました編集部の皆様に, 心より御礼申し上げます。



熊本大学大学院生命科学研究部 放射線診断学講座
永山泰教

『臨床画像』優秀編集賞

特集「画像診断における脂肪の意味：存在からその意義まで」

2020年3月号(Vol.36, No.3)

中村優子 先生 (広島大学大学院医系科学研究科 放射線診断学研究室)

このたびは, 第2回優秀編集賞に選出いただき, 大変光栄に存じます。今回の受賞対象は私ではなく, テーマの立案からご指導いただきました広島大学の栗井和夫教授, また大変お忙しいなか本特集の執筆を引き受けてくださり, 素晴らしい原稿を作成くださいました著者の先生方への受賞と考えております。あらためまして, 心より感謝申し上げます。放射線科医となって随分時間が経過しましたが, まだまだ勉強不足を痛感する日々で, 私自身が『臨床画像』に教えていただいている状況ですが, この受賞を励みに, また新たな気持ちで明日からの診療・研究に励んでいければと思っております。このたびは本当に有難うございました。



広島大学大学院医系科学研究科 放射線診断学研究室
中村優子

本年2021年度も, 1年間に本誌に掲載された優秀な論文および特集を表彰するアワードを予定いたしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。